

「職業」 学習指導案

1. 日時 令和2年1月
2. 場所 第2学年 教室 ⇒ 第2学年 トイレ
3. 学部・学年・組 高等部 第2学年
4. 単元(題材)名 トイレ清掃
5. 単元(題材)目標

- ・トイレ清掃を通して、必要な準備や片付けができる。
- ・トイレ清掃を通して、自分の役割を理解し、その役割を果たそうとする。
- ・トイレ清掃を通して、他者と連携しながら清掃に取り組む。

6. 生徒観

略

7. 教材観

普段、学校生活では一回はトイレを利用している。生徒が普段利用するトイレは、学年で清掃割り当てにトイレ清掃が入っているので、きれいなトイレで用を足すことができる。よって、校内においては、汚れたトイレをあまり利用したことがないと思われるので、教材の中で汚れたトイレを見ることで、清掃の必要性を知る。本題材は、①【トイレを清掃することに関心を持つ】、②【上手な用具の使い方や手順を学ぶ】ことで、きれいなトイレを保とうとする意識づけにも繋がる。今までの授業で経験した水切りワイパーと便座ブラシを使うので、生徒自身も見通しをもって取り組むことができる。

8. 指導観

本単元では、水切りワイパーと便座ブラシの二つの用具を使用し、それぞれの用具を使用するにはそれに附随する活動があることを考えていく。例えば水を切るためには事前に床に水がまかれていないといけないことや、便座ブラシを使うには洗剤が必要であることなど、その用具の使用目的や使用方法を生徒自身が気付く形となるよう、教材やヒントの提示を行う。また、用具の役割分担については1回目の授業で決定したものを5回目の授業まで一貫して同じ役割につくようにし、試行と振り返りを積み重ねることで清掃内容の定着をはかる。授業の最初にそれぞれの役割が書かれたペープサートを渡し、自身が何の係なのかを意識づける。生徒に時間の流れを伝え、自分の役割や配置を、ペープサートを使って確認した。ワイパーで水を切る前にホースを準備したり、水を出したりする人が必要なので、ホース係と水出し係を新たに役割に配置した。また、水を出した後、周りの人がどんな行動をしているのかを予想し、何が手伝えるのかを考える場面を設定した。本時は水切りをする前にデッキブラシで床を磨く清掃場面で、水を出した人・ワイパーで水を切る人は一度デッキブラシを使い、水がまかれた場所から床を磨いていく。磨かれた場所からホース係が、水が流れている状況を見て、自らデッキブラシを水切りワイパーに切り替えることが必要となる。一方、便座ブラシ担当の役割は、個室トイレ内の便座を磨くが、ホース係が水をまきに来ると場所を空けて個室のドアを持ち、水をまきやすいようにドアを開け、補助をする。このように自身の清掃の動きは、周りとの協力して動くことで清掃が進んでいくことを場面ごとに学習し、トイレ清掃を通して他者と連携の大切さへの気付きを促す。また、移動式黒板に貼ったペープサートを後半の実践時にトイレ前に運ぶことにより、いつでも一連の流れを確認することができる。

9. 単元(題材)の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①自身の役割や、用具の使い方を理解している。	①用具を使うにあたり、他者と連携しようとしている。 ②他者が進めている清掃を意識しながら自身の清掃を行おうとしている。	①実践の場で、自身が使う用具の出番がわかり、ペープサートを時系列に沿って貼ろうとしている。 ②用具の準備・片付けを次に使用する人のことを考え、行動しようとしている。

10. 単元の指導と評価の計画(全5時間、本時は第4時)

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1	1	今期のリーダー決め 系の役割と担当決め ペープサートで時系列の確認 トイレにて道具の保管場所を知る 全体で振り返り	挨拶 ラジオ体操と声出し 本時の確認 実践 まとめ	単元の見通しを持てるよう目標や活動内容の確認を丁寧に行う。	A① C① C②
2	2 ・ 3	リーダーの確認 系の役割の確認 ペープサートで時系列の確認 自身が使う道具をとる 全体で振り返り	挨拶 ラジオ体操と声出し 本時の確認 実践 まとめ	ペープサートの見方については、上から下に下がるにつれて時間がたっていることを説明し、他者との連携を図って確認するように促す。	B① C① C②
3	④ ・ 5	リーダーの確認 系の役割の確認 ペープサートで時系列の確認 道具の入れ替え 全体で振り返り	挨拶 ラジオ体操と声出し 本時の確認 実践 まとめ	周りの人が進めている清掃を見ながら、用具を入れ替えるタイミングに気付くようにする。	B② C②

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・自身の役割を理解し、周りの人と協力して清掃をすることができる。
- ・用具の準備や、片付けができる。

(2) 本時の評価規準

- ・他者が進めている清掃を意識しながら自身の清掃を行う。【思考・判断・表現②】

(3) 本時で扱う教材・教具

水切りワイパー 大・小 デッキブラシ 便座ブラシ 絵具 クレンザー ペープサート 移動式黒板

(4) 生徒の実態と本時の目標

略

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び 支援の手だて等	評価規準(評価方法)
1 5 分 導 入	○挨拶 ○リーダーの仕事 ・出欠をとる ・ラジオ体操 ・声出し表を用いた声出し ・持ち物確認	・リーダーの仕事でわからないことがあれば、指導者は先回りをせずに待つ。自分から質問するように促す。	
4 0 分 展 開	○役割の確認 ・水切りワイパー大 ・水切りワイパー小 ・ホース係 ・水だし係 ・便座ブラシ係 ○ペープサートを用いた時系列の確認をする。 ・各役割の目標を確認する。 ・上から下に行くにつれて時間が経っていることを踏まえ、清掃の順番を考える。 ○実践 ・第2学年トイレに移動する。リーダーは清掃中のPOPを扉に貼る。 ・黒板を第2学年トイレ前に移動する。 ・清掃準備を行う ①長靴をはく ②すのこやスリッパを出す ③窓を開ける ・各役割の用具を準備し、清掃を始める。他者が進めている清掃を意識しながら自身の清掃を行う。 ・床の水が切れたら指導者に報告する。 ・各用具の片づけをする。 ・スリッパとすのこを元に戻す。 ・リーダーはPOPを外す ・黒板を教室に移動する。 ・教室に戻り、石鹸で手を洗う。	・ペープサートに書かれた係の名前を、黒板に貼る。 ・連携する清掃の手順の時系列が合うようにペープサートを貼る。 ・全体指導で生徒実態に応じて、黒板前に行き、指導者から説明を聞くように促す。 ・わからないことは質問を受け、黒板を見て確認をすることを促す。 ・水をまくので、濡れないように長靴の中に裾を入れるよう促す。 ・ホース係と水出し係の連携 →お互いの言葉かけ ・ホース係が泡を流し始めたら →水切りワイパー係はデッキブラシを片付け、水切りワイパーを準備する。 ・ホース係りが個室に入ってきたら →便座ブラシ係は個室から退室し、扉をもつ ・床に水たまりがないかを確認する。	・B②他者が進めている清掃を意識しながら自身の清掃を行う。 【思考・判断・表現】 ・B②他者が進めている清掃を意識しながら自身の清掃を行う。 【思考・判断・表現】
1 5 分 ま と め	○振り返り ・各自の目標を達成することができたかを確認し、発表する。 ・発表した内容を連絡帳に記入し、指導者に報告する。 ・次回のリーダーの確認をする ○挨拶	・ペープサートの活動内容を見せて、自身の課題を確認するよう促す。	

(6) 教室配置等

略